



2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスプール
 コード番号 2471 URL <https://www.spool.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗 TEL 03-6859-5599
 四半期報告書提出予定日 2021年7月9日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年11月期第2四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	11,641	19.3	1,184	19.5	1,197	21.1	780	13.4
2020年11月期第2四半期	9,759	17.6	991	29.9	989	27.1	688	38.5

（注）包括利益 2021年11月期第2四半期 780百万円（13.4%） 2020年11月期第2四半期 688百万円（38.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	9.88	—
2020年11月期第2四半期	8.71	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期第2四半期	12,022	4,987	41.4	63.01
2020年11月期	11,305	4,468	39.4	56.43

（参考）自己資本 2021年11月期第2四半期 4,977百万円 2020年11月期 4,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	3.30	3.30
2021年11月期	—	0.00	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	—	—	4.10	4.10

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	18.0	2,500	12.2	2,488	11.6	1,635	3.5	20.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	79,007,500株	2020年11月期	79,007,500株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	3,855株	2020年11月期	3,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	79,003,645株	2020年11月期2Q	79,003,645株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年7月2日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急事態宣言の再発出による経済活動の制限が行われる等厳しい状況が続きました。今後については、ワクチン接種の開始により感染拡大が収束していくことが期待されますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループは、領域の異なる事業を複数展開するポートフォリオ経営を推進してきたことにより、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、売上・利益ともに第2四半期連結累計期間における過去最高を更新しました。主力の人材派遣サービスでは、コールセンター業務が主要顧客内のシェアを着実に伸ばし、売上をけん引しました。障がい者雇用支援サービスについては、緊急事態宣言に起因した農園の開設遅れにより、販売の一部が第3四半期以降にずれ込んだものの、大幅な増収増益となりました。また、その他のサービスについても、緊急事態宣言の影響を若干受けたものの、増収を達成することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,641百万円（前年同四半期比19.3%増）、営業利益は1,184百万円（前年同四半期比19.5%増）、経常利益は1,197百万円（前年同四半期比21.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は780百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

なお、当社グループは、社会的価値と経済的な価値の両立を実現することを中期的なビジョンとし、①「既存事業の深堀りによるオーガニック成長の継続」、②「新たな事業領域における成長機会の獲得」、③「ESGを軸とした経営基盤の強化」の3点を重点戦略として定めております。

2021年11月期第2四半期連結累計期間 連結業績

(単位：百万円)	2020年11月期 第2四半期	2021年11月期 第2四半期	増減率
売上高	9,759	11,641	19.3%
営業利益	991	1,184	19.5%
経常利益	989	1,197	21.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	688	780	13.4%

当第2四半期連結累計期間のセグメント経営成績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

[事業概要]

ビジネスソリューション事業では、シニアや障がい者など潜在労働力の活用を支援するサービスや企業の業務の一部を受託するアウトソーシングサービスを提供しています。前者においては、株式会社エスプールプラスが、障がい者雇用を希望する企業に農園を貸し出し、主に知的障がい者を企業が直接雇用し、収穫した野菜を従業員の健康促進に役立てる福利厚生プログラムの提供を行っています。また、株式会社エスプールでは、様々な経験やノウハウを有するシニアを企業の経営課題や業務課題の解決に役立てるプロフェッショナル人材サービスを提供しています。

後者のアウトソーシングサービスでは、株式会社エスプールロジスティクスが通販商品の発送を代行する物流サービスを提供しています。また、株式会社エスプールリンクではアルバイトやパートの求人応募の受付を代行する採用支援サービスを提供しており、株式会社エスプールセー

ルスサポートでは対面型の会員獲得業務や販売促進業務を行っています。ブルードットグリーン株式会社は、CO₂の排出量算出やカーボンオフセット仲介など環境経営の支援に関するサービスを提供しており、2020年6月に子会社となりました。

[当第2四半期連結累計期間の経営成績]

障がい者雇用支援サービスにおいては、2021年3月の法定雇用率の引き上げにより、企業の障がい者雇用に対する意識が一段と高まっており、設備販売の受注は引き続き好調に推移しました。一方、農園の開設については、緊急事態宣言に起因した行政手続の遅延により、長久手農園の開設に遅れが生じました。その結果、設備販売の一部が第3四半期以降にずれ込むこととなりましたが、他の農園の販売を積み上げたことで大幅な増収を達成しました。ロジスティクスアウトソーシングサービスについては、主要顧客の売上回復と新規顧客の増加によって増収となったものの、低収益案件の発生や生産性の落ちこみにより、収益性が低下しました。採用支援サービスに関しては、緊急事態宣言の影響により飲食業の応募受付数が大きく落ち込みましたが、コロナ禍においても採用が活発な業界を上手く取り込んだことで増収を達成しました。損益面では、前期に新型コロナウイルス感染症の影響を受けたサービスの収益回復に加え、障がい者雇用支援サービスの設備販売が大きく伸びたことにより増益となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,458百万円（前年同四半期比30.8%増）、営業利益は880百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

②人材ソリューション事業

[事業概要]

人材ソリューション事業は、人材派遣サービスを主力とする株式会社エスプールヒューマンソリューションズが提供するサービスで、コールセンター等のオフィスサポート業務とスマートフォンや家電製品等の店頭販売支援業務に関する人材サービスを主に展開しています。サービスの特徴は、フィールドコンサルタント（FC）と呼ばれる同社の従業員と派遣スタッフをチームで派遣する「グループ型」の形態を採用している点になります。派遣先に配置されたFCが、現場で派遣スタッフを手厚くフォローすることで、未経験者を短期間で育成できるだけでなく定着率の向上にもつながり、顧客満足度の向上とシェア拡大に寄与しています。

[当第2四半期連結累計期間の経営成績]

主力のコールセンター業務においては、主要顧客を中心にグループ型派遣が堅調に推移しました。また、比較的新しい取引先の拡大も順調に進んでおり、売上の底上げにつながりました。販売支援業務については、モバイル端末のキitting業務がテレワーク普及を追い風に増加したものの、対面での販売業務に関しては、緊急事態宣言再発出による店舗の時短営業や休業の影響が非常に大きく、減収となりました。また、地域別では、コールセンターのスポット業務が集中した東京や大阪など大都市エリアにて高い伸びとなりました。損益面では、派遣スタッフの継続率の向上により社会保険料などの売上原価が上昇しましたが、売上高増加による利益増加に加え、効率的な支店運営や募集費の抑制に努めたことにより、増益を達成しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,205百万円（前年同四半期比14.9%増）、営業利益は931百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

2021年11月期第2四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高 (単位: 百万円)	2020年11月期 第2四半期	2021年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	9,787	11,664	19.2%
ビジネスソリューション事業	2,644	3,458	30.8%
人材ソリューション事業	7,142	8,205	14.9%
調整額	△27	△22	－%
合計	9,759	11,641	19.3%

営業利益 (単位: 百万円)	2020年11月期 第2四半期	2021年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	1,527	1,812	18.6%
ビジネスソリューション事業	740	880	18.9%
人材ソリューション事業	786	931	18.4%
調整額	△536	△628	－%
合計	991	1,184	19.5%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から81百万円減少し、5,654百万円となりました。人材ソリューション事業を中心として売上が増加しておりますが、障がい者雇用支援事業の農園建設を中心とした投資活動による支出や法人税等及び消費税等の支払等が売上債権の回収を上回り、現金及び預金が377百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末から799百万円増加し、6,368百万円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて、新規農園の建設や既存農園の増設をしており、有形固定資産が755百万円増加しております。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から171百万円増加し、5,845百万円となりました。前述の納税や投資活動による支出等に備えて短期借入金を500百万円借り増ししております。一方、納税により未払消費税等を含むその他が313百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末から26百万円増加し、1,189百万円となりました。長期借入金の返済により42百万円減少し、農園の新規建設等により資産除去債務が57百万円、繰延税金負債が9百万円それぞれ増加しております。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により780百万円増加し、一方、第21期期末配当により260百万円減少し、4,987百万円となりました。

④キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は前連結会計年度末から377百万円減少し、2,137百万円となりました。各活動によるキャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比142百万円減少の435百万円の収入（前年同四半期は578百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比較して201百万円増加し1,188百万円、減価償却費が前年同四半期と比較して85百万円増加し300百万円であったものの、売上債権の増加を主要因とした運転資本の増加が707百万円発生したこと及び法人税等の支払額が357百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比3百万円増加の1,012百万円の支出（前年同四半期は1,008百万円の支出）となりました。これは、主に株式会社エスプールプラスの新農園建設等による有形固定資産の取得による支出937百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、199百万円の収入（前年同四半期は1,075百万円の収入）となりました。収入及び支出の主な内訳は、短期借入金の増加500百万円、長期借入金の返済による支出42百万円、配当金の支払額257百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月13日に公表いたしました2021年11月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,514	2,137
受取手形及び売掛金	2,958	3,114
商品	87	199
その他	183	214
貸倒引当金	△8	△12
流動資産合計	5,735	5,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,140	4,495
その他(純額)	764	1,165
有形固定資産合計	4,905	5,661
無形固定資産	92	79
投資その他の資産		
繰延税金資産	65	69
その他	518	571
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	571	628
固定資産合計	5,569	6,368
資産合計	11,305	12,022
負債の部		
流動負債		
買掛金	205	188
短期借入金	2,350	2,850
1年内返済予定の長期借入金	85	85
未払法人税等	403	451
未払費用	1,418	1,373
賞与引当金	74	112
役員賞与引当金	40	—
その他	1,096	783
流動負債合計	5,674	5,845
固定負債		
長期借入金	428	385
繰延税金負債	52	61
資産除去債務	631	688
その他	50	53
固定負債合計	1,163	1,189
負債合計	6,837	7,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	372	372
資本剰余金	222	222
利益剰余金	3,864	4,383
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,458	4,977
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
非支配株主持分	9	10
純資産合計	4,468	4,987
負債純資産合計	11,305	12,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	9,759	11,641
売上原価	6,884	8,279
売上総利益	2,874	3,361
販売費及び一般管理費	1,883	2,177
営業利益	991	1,184
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	14	23
その他	4	2
営業外収益合計	18	26
営業外費用		
支払利息	8	11
その他	12	0
営業外費用合計	20	12
経常利益	989	1,197
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	1	9
リース解約損	3	—
特別損失合計	4	9
税金等調整前四半期純利益	986	1,188
法人税、住民税及び事業税	184	402
法人税等調整額	113	4
法人税等合計	298	407
四半期純利益	688	780
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	688	780

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	688	780
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	688	780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688	780
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	986	1,188
減価償却費	215	300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	38
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△40
受取利息	△0	△0
支払利息	8	11
固定資産除却損	1	9
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
リース解約損	3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△95	△155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6	△112
仕入債務の増減額 (△は減少)	1	△16
未払費用の増減額 (△は減少)	3	△44
その他	△176	△378
小計	883	804
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△8	△12
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△296	△357
営業活動によるキャッシュ・フロー	578	435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△883	△937
無形固定資産の取得による支出	△23	△22
投資有価証券の取得による支出	△45	—
固定資産の売却による収入	2	—
敷金及び保証金の差入による支出	△51	△55
敷金及び保証金の回収による収入	2	0
貸付金の回収による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△10	—
その他	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,008	△1,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,300	500
長期借入金の返済による支出	△67	△42
配当金の支払額	△156	△257
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,075	199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	644	△377
現金及び現金同等物の期首残高	2,119	2,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,763	2,137

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,632	7,127	9,759	—	9,759
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12	15	27	△27	—
計	2,644	7,142	9,787	△27	9,759
セグメント利益	740	786	1,527	△536	991

(注) 1. セグメント利益の調整額△536百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△536百万円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,443	8,198	11,641	—	11,641
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15	7	22	△22	—
計	3,458	8,205	11,664	△22	11,641
セグメント利益	880	931	1,812	△628	1,184

(注) 1. セグメント利益の調整額△628百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△628百万円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。